

会議録(要旨)

会議の名称	多摩北部都市広域行政圏協議会 令和4年度 第1回協議会
開催日時	令和4年7月21日(木) 午後1時57分から午後2時49分まで
開催場所	多摩六都科学館 2階 201会議室
出席者	小平市 小林 洋子 市長 奥村政策課長 東村山市 渡部 尚 市長 小倉企画政策課長 清瀬市 佐藤未来創造課長 東久留米市 富田 竜馬 市長 佐藤企画調整課長 西東京市 池澤 隆史 市長(会長) 東京都 総務局行政部 清水多摩振興担当課長 事務局 保谷事務局長 鈴木次長 安達主査 佐々木課長代理(多摩振興総括担当) 酒井主事
議 事	議案第1号 令和3年度多摩北部都市広域行政圏協議会歳入歳出決算について
協議事項	(1) 令和4年度多摩北部都市広域行政圏協議会事務日程について
報告事項	(1) 令和3年度事業報告書について (2) 令和4年度各専門委員会への付託事項について (3) 令和4年度多摩六都フェアの日程等について
会議資料	議案第1号 令和3年度 多摩北部都市広域行政圏協議会歳入歳出決算について 資料1 令和4年度 多摩北部都市広域行政圏協議会事務日程(予定) 資料2 令和3年度 専門委員会の活動報告及び評価について 資料3 令和4年度 専門委員会への付託事項 資料4 令和4年度 多摩六都フェアの日程等について (参考資料) 多摩北部都市広域行政圏協議会ニュースNo. 33 作成イメージ
記録方法	発言者の発言内容ごとの要点記録
会議内容	
<p>1 開会          会長挨拶          東京都総務局行政部多摩振興担当課長挨拶</p> <p>2 議事          (1) 議案第1号 令和3年度 多摩北部都市広域行政圏協議会歳入歳出決算について          ●事務局から、議案第1号により説明          ・歳入決算額 14,413,158円、歳出決算額 11,308,751円          ・歳出は10年間で2番目に小さい決算となった。調査研究費で大きな経費がなかったこと、会計年度任用職員を使わなかったこと等が要因。          ・10年間で最大だった令和2年度と比較すると、400万円を超える減となった。          一異議なし 承認</p>	

### 3 協議事項

#### (1) 令和4年度多摩北部都市広域行政圏協議会事務日程について

●事務局から、資料1により説明

・協議会Webサイトのリニューアルを来年1月に向けて実施する。各専門委員会や広域行政担当者会議と連携して進める。

●質疑応答

(東村山市 渡部市長)

①現状のWebサイトの課題とリニューアルの方向性を伺う。

②プロポーザルにおいて事業者選定の決め手となったのは、どのような提案か。

(事務局)

①前回のリニューアルから10年経過し、デザインやセキュリティなどが古くなっているため、新しくしていく。また、現行のサイトに協議会の取組の記載がないため、新設する。

②ウェブアクセシビリティ対応を厚く行う提案があり、評価された。

(東村山市 渡部市長)

・ウェブアクセシビリティは各市で工夫している。また、スマートフォン対応なども重要。

この分野は専門委員会がないので、各市のホームページ担当にも意見照会し、情報発信しやすい形で圏域全体の魅力が伝えられるよう、検討してほしい。

(会長)

・各市のホームページ担当とも連携して進めていく。

—異議なし 承認

### 4 報告事項

#### (1) 令和3年度事業報告書について

●事務局から、令和3年度事業報告書、資料2により説明

・「専門委員会報告」は、令和3年度第3回協議会の説明から大きな変更がないことから、資料2の「評価・次年度に向けて」を令和3年度の最終評価とする。

・産業・観光振興専門委員会の北多摩TOKYOアニメスタンプラリーの参加者分析を報告  
居住地別 圏域5市：8割強 5市と隣接8市区：9割超 その他：1割弱

移動手段 自転車：6割強 自家用車：5割 自転車利用者の4割が自家用車を併用

5市居住者等：近くは自転車・遠くは自家用車又は電車併用のパターン

遠方から来訪：自家用車のみ、電車で来訪し圏域内はバス利用の2パターン

公共交通利用：3割弱 中でも鉄道利用が多い。本年度は西武鉄道と連携の予定

—質疑なし

#### (2) 令和4年度各専門委員会への付託事項について

●事務局から、資料3により説明

・各委員長（小平市）宛付託済。委員長と協力し「多摩六都広域連携プラン」の取組を進める。

—質疑なし

#### (3) 令和4年度多摩六都フェアの日程等について

●事務局から、資料4により説明

・8つのイベントの日程・開催場所

・「こだいら合唱団」は、実行委員会の意見を踏まえ、昨年度に引き続き中止

—質疑なし

### 5 その他

●協議会ニュースNo. 33の発行について、事務局から、参考資料により説明

・9月4日(日)発行予定。新聞折込で19万8千部、窓口でも配布する。現在原稿を作成中。

—質疑なし

●意見

(東村山市 渡部市長)

・圏域5市は基本的に西武線の沿線自治体であり、まちづくりやハード整備、シティプロモーションや産業振興等で鉄道事業者である西武鉄道との関わりが深く、各市とも西武鉄道と個別に関係性を構築している。

・西武鉄道は、西武新宿駅からJR新宿駅まで地下道を直線的に結ぶ計画や、駅のバリアフリー化に伴って料金上乘制とすることを発表している。駅のバリアフリー化やホームドア設置が圏域5市でどのように進められるか、各市とも関心を持っている。

また、連続立体交差化が、東村山で事業中、西東京市で着工準備採択され、今後事業が進むにあたり、沿線全体として西武池袋線・新宿線のブランド化をどのように図るか、非常に重要なテーマである。

・沿線全体の魅力や価値をどのように高めていくか、他路線に見劣りしないよう進めるため、幹事会で議論して、年1回程度、広域行政圏として西武鉄道と意見交換できる場を実現してほしい。

(会長)

・幹事会で議論の上、改めて協議会に諮ることとする。

－意義なし

6 閉会